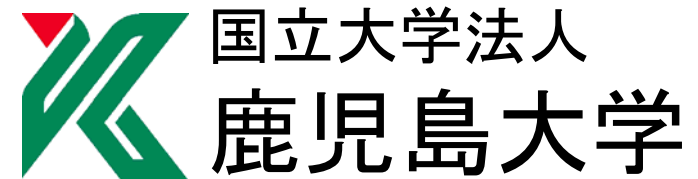


教員免許状更新予備講習実践報告

(第55回中教審初等中等教育分科会教員養成部会 2008.10.6)

鹿児島大学の取組

総合大学の大規模講習と離島へき地等での開講





鹿児島大学はどのような大学か

- 人口約175万人の17市を含む49市町村からなり南北600kmにも及ぶ全国有数の広域県である鹿児島県の県都鹿児島市（人口約60万人）に位置
- 旧制七高もそのルーツの一つである国立大学法人
- 8学部（法文・教育・理・工・農・水産・医・歯）10研究科（人文社会科学・教育学・理工学・農学・水産学・医歯学総合・保健学・司法政策・臨床心理学・連合農学）を擁する
- 学部学生の入学定員は約2,000名で現在学部学生と大学院生併せて約12,000名が在籍する

鹿児島県の教育事情

- へき地校が多い

小中学校併せて868校中、半数近くの417校がへき地校（北海道に次いで第2位の高率）

- 離島の学校が多い

417校中、約60%の252校が離島



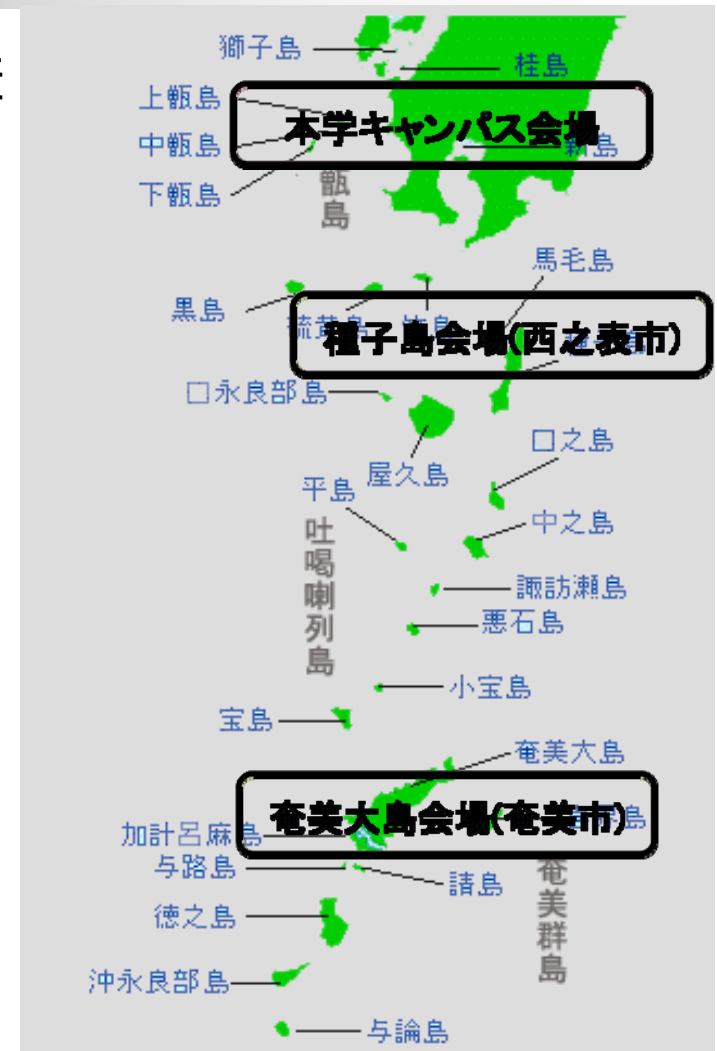


鹿児島大学の予備講習の特色

- 21年度からの**本講習に近い**形で試行
- 全国で最も多い講座総数（必修領域3講座、選択領域53講座の計**56講座**を実施）
- 最も多い受講受入数（**募集総数2453名**）
- 全国で最も多い担当学部数（課程認定を受けている**6学部**すべてが開講）
- **離島域**での開講（奄美大島・種子島）
- **水産練習船**による洋上講座
- 鹿児島県教育委員会との連携協力

必修領域12時間の講習

- 鹿児島市内本学キャンパスでの開講
定員252名の大人数講義形式
- 奄美大島（奄美市）での開講
定員150名の中人数講義形式
県立高校特別教室を会場とした実施
- 種子島（西之表市）での開講
受講人数50名前後の少人数講義形式
民間の会場借用による実施



選択領域18時間の講習(1)

—鹿児島市内本学キャンパス会場—

- 6学部すべてが6時間・12時間・18時間の講座を複数提供
- 単独教員・複数教員のリレー・複数教員のT T等
- 1日講座・連続日程・飛び石日程の多様な形態

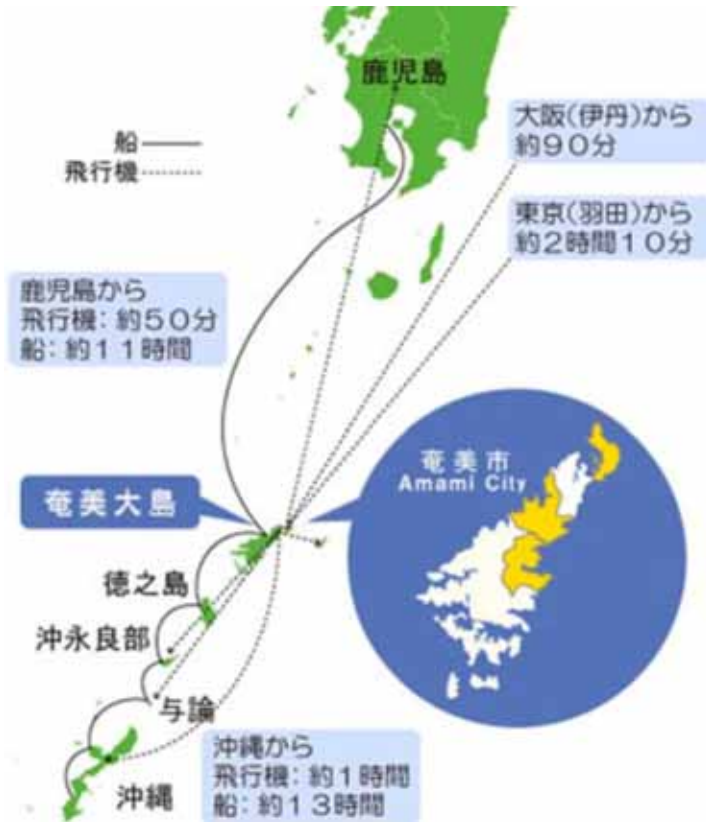


選択領域18時間の講習(2)

—離島会場：奄美大島と種子島—

■ 奄美大島(奄美市)

教育・法文・理の3学部が1講座ずつ県立高校の教室で開講予定で募集



■ 種子島(西之表市)

教育・理の2学部が1講座ずつ民間会場借用および県立高校化学実験室で募集



選択領域18時間の講習(3)

—水産練習船会場—

- 錦江湾内洋上での開講
- 乗船許可定員上限の7名の募集定員



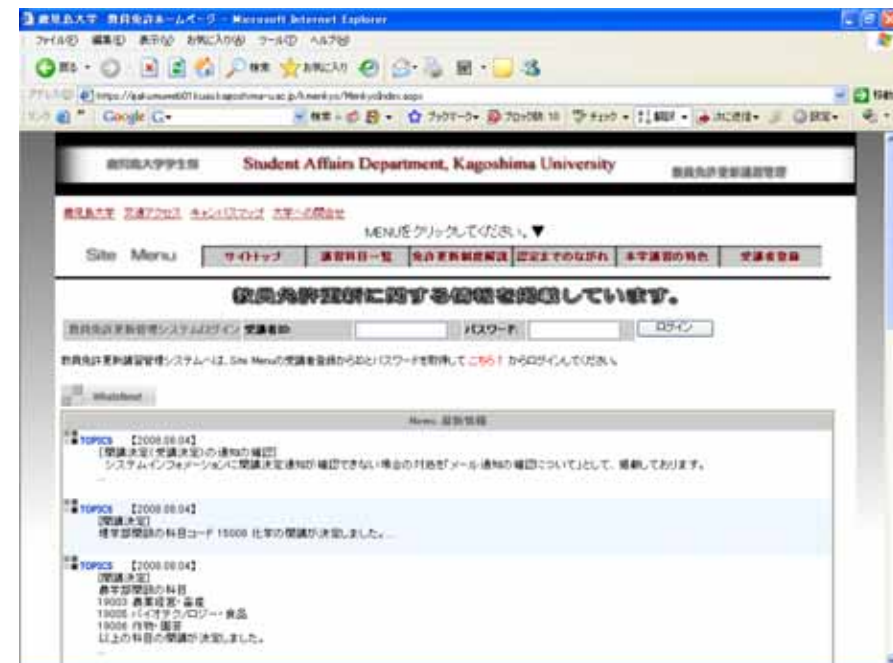
事務の効率化に向けて(1)

— 予備講習から本実施システムを稼働 —

試行開始から本講習を想定して、予備講習を実施しているため、多科目に対応するよう、受講受付から終了までのシステム構築



システムを受講者用、教員用(開設者)、管理者用(事務職員)の3つに区分し、ほとんどすべての作業をWeb上にて、処理することにより、事務作業の効率化と簡素化を図った。



鹿児島大学教員免許状更新講習管理システムトップ画面

事務の効率化に向けて(2)

—スムーズな実施のカギを握るシステム構築—

受講者の入力

- ・科目の選択, 申込処理
- ・受講申込書の作成 (ダウンロードし, 郵送)
- ・成績等の確認

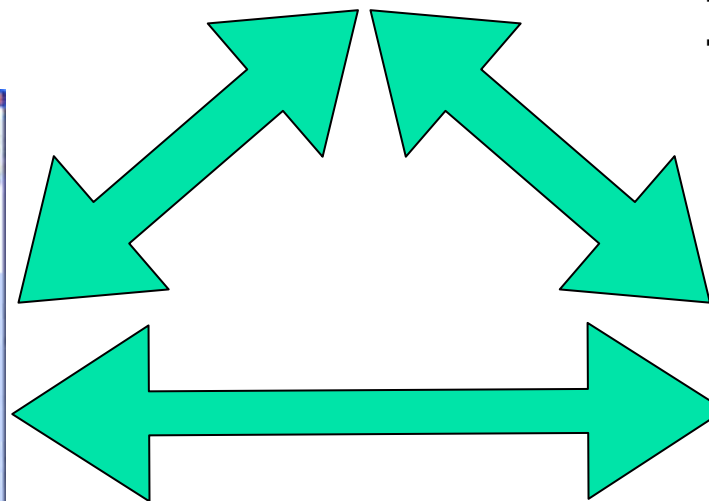


システム管理者での作業

- ・科目等, 提供情報の処理
- ・科目の受付処理, 受講者への連絡
- ・成績確認, 連絡処理
- ・履修証明書発行

講座担当教員の入力

- ・資料の作成(雛形データダウンロード可能)
- ・講習後の成績処理, 入力





受講者はどの講座に殺到したか

- 必修12時間をとにかく受けておきたい！

鹿児島市会場は250名が3日で満員

離島会場受講者には離島外や県外からも

- 水産練習船は大人気！

受け付け開始当日に満員

小学校教師にも大人気

- 一定に教科に偏しない内容の講座

「小学校学習指導」「中学校学習指導」は2日で満員

- 養護教諭関連講座

- 特別支援教育関連講座

受講した教師からの反応(1-1)

— 独自に実施した自由記述アンケートの集約 —

■ 免許状更新講習制度に関して

- ・ 普段学校にいと、自分で意識しないと新しい情報は得られないので、それを改めて知る良い機会になりました。
- ・ 改めて、教育者としてしっかりと教材研究をしなくてはならないと自覚しました。
- ・ 離島で開催してくれることに非常に感謝している。
- ・ 自分にとっては幅広い知識を得ることができたが、今現場は多忙を極めており、この講習は大きな負担である。また、ステップアップ研修、パワーアップ研修もあり、それが重なると更に負担が増す。子供と接する時間も減ることになるのではないかと思う。そこを考慮していただきたい。
- ・ 現職にしながら、この講習を受講することはきわめて多忙となる。更新に関する時間数を減らして欲しい。この講義はよかったが、評価テストはかなりの負担である。
- ・ パワーアップ研修など、他の研修等も単位として認めてほしい。



受講した教師からの反応(1-2)

— 独自に実施した自由記述アンケートの集約 —

■ 講座内容に関して

- ・ 大学時代に学んでいなかったことが学べ、今後自分の生徒から質問されたときに、その知的好奇心を満たしてあげられるような講義内容であった。
- ・ 今までに学習不足であった分野の講義であり、新しい知識を身につけることができ、本当に受講できてよかったと思う。
- ・ 現場では学べない内容が多く、とても参考になりました。
- ・ 実際に学校で悩んでいること、困っていることそのものを例にさせていただいての内容で、とても分かりやすく、今後すぐに生かせると思いました。このような講義だと、毎年受けたいと思います。
- ・ あまりにも高度な内容のため、分からなかった。もっと学校現場に密着した内容にしてほしい。
- ・ もう少し、現場に合ったことをやってもらいたい。できれば実技講習を！！
- ・ 水産練習船の洋上講習を受講したかったが、すぐに定員に達して残念。



受講した教師からの反応(1-3)

— 独自に実施した自由記述アンケートの集約 —

■ 評価試験に関して

- ・ 学んだ事を自由形式で書く評価テストはとてもいいと思いました。
- ・ 評価テストの形式を事前に教えてほしい。
- ・ 講義後いきなりではなく、評価テストを始める前に見直す時間を設けて欲しい。
 -
- ・ 免許更新は資格試験に相当するものであるはずとすれば、当然その合否基準が明確にされるべきであるにもかかわらず、曖昧である。



受講した教師からの反応 (2)

—事後評価票の集約—

- 概ね高評価

大規模予備講習を担う本学への感謝？
来年有料になると

- 心理学および特別支援教育への高評価

何よりニーズの高さ, そして教員対象の講座経験が生きる

- 専門科目は同一講座で評価にバラツキ

高度な内容への賛否両論
受講者と講座内容のミスマッチも



講習講座担当教員からの意見

—自由記述アンケート結果から—

- 予期していた以上に受講者が熱心に受講し、反応も非常に良かった。
- 受講者が「教師＝教育のプロ」であり、講師として身が引き締まった。
- 認定試験の評価基準の設定は非常にデリケートであり難しく思った。
- 遅刻や早退はほとんど無いが、直前キャンセルは・・・。
- 必修領域担当者の来年以降の負担は気にかかる。
- 離島域で、台風等で日程の延期等に対応できるか不安。
- 実験系の科目で教材費やT A等の補助を十分に欲しい。

・
・



更新講習：鹿大の大きな課題

- 南西島嶼地域を含め南北600kmの鹿児島県の教員のニーズをどう捉え、どう対応するか。
- 教育学部の教育学科・心理学科の各6名、特別支援教育課程の3名の計15名の教員の負担をどうするのか。
- 離島および練習船での講習実施における採算性は・・・
- 県内の他大学との連携の可能性は。
- 隣県(熊本・宮崎・沖縄)の鹿児島隣接地域をどう考えるか。また、隣県の大学とどう連携するか。
- さらに迫られる事務処理の効率化。

「泣こよか、ひっ翔べ」

の精神で..



天璋院篤姫



西郷隆盛



国立大学法人
鹿児島大学